

令和4年（2022年）12月19日

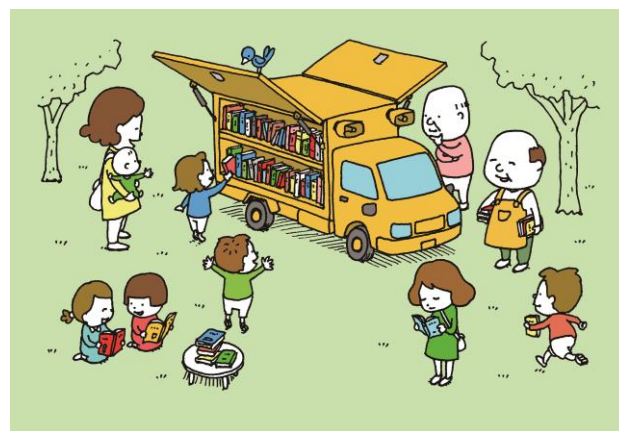
軽自動車の移動図書館車「LiBOON」専用 ヨシタケシンスケ氏のデザインが完成！

株式会社図書館流通センター（代表：谷一文子 東京都文京区 以下：TRC）が提供する移動図書館車「LiBOON（リブーン）」専用ラッピングとして、絵本作家ヨシタケシンスケ氏にデザインを手掛けていただきました。LiBOONは「老若男女すべての人が図書館を利用できる社会をつくりたい」という想いのもと提供を開始。この想いにご賛同いただいた世界観のデザインとなっています。

LiBOON が生まれた背景

移動図書館は、図書館のサービスを地域内すみずみまで行き渡らせるためのサービスです。コロナ禍にある今だからこそ、人の手を介して本を届ける、地域コミュニティに愛される図書館サービスが求められていると感じています。

TRCが提供する軽自動車による移動図書館車「LiBOON」は、これまでの大型車両による移動図書館車では行けなかった場所にも停留場所を設置でき、住民のより近くまで本を届けることができます。一定時間留まってサービスを提供できるため、地域の新たなふれあいの場にもなります。



© ヨシタケシンスケ

大型車両と比較した LiBOON の強み

● 市内全域の図書館サービスを実現します

軽自動車のため、山間部/島嶼部などにもサービスを提供できます。

● 普通自動車免許で運転ができます

LiBOONは、軽自動車・AT車（オートマチックトランスミッション車）のため、普通自動車第一種運転免許（AT限定）があれば運転が可能です。そのため、運転手の人材確保が容易です。

● 維持費をおさえて、サービスを拡大できます

これまでの大型車両による移動図書館車と比べ、維持費がかかりません。

ヨシタケシンスケ氏デザイン概要

本リリースの次ページ以降に、デザインおよびイメージ図を添付しております。

ヨシタケシンスケ氏 プロフィール

1973年神奈川県生まれ。筑波大学大学院芸術研究科総合造形コース修了。2013年に初の絵本『りんごかもしれない』（ブロンズ新社）を出版。これまで『りんごかもしれない』『もうぬげない』（ブロンズ新社）『りゅうがいます』『なつみはなんにでもなれる』『おしっこちょっぴりもれたろう』（PHP研究所）『あつかったらぬげばいい』（白泉社）『あんなに あんなに』（ポプラ社）で7度にわたりMOE絵本屋さん大賞第1位に輝く。『りんごかもしれない』で、第61回産経児童出版文化賞美術賞、『つまんないつまんない』（白泉社）の英語版『The Boring Book』で、2019年ニューヨーク・タイムズ最優秀絵本賞受賞。

-お問い合わせ先-

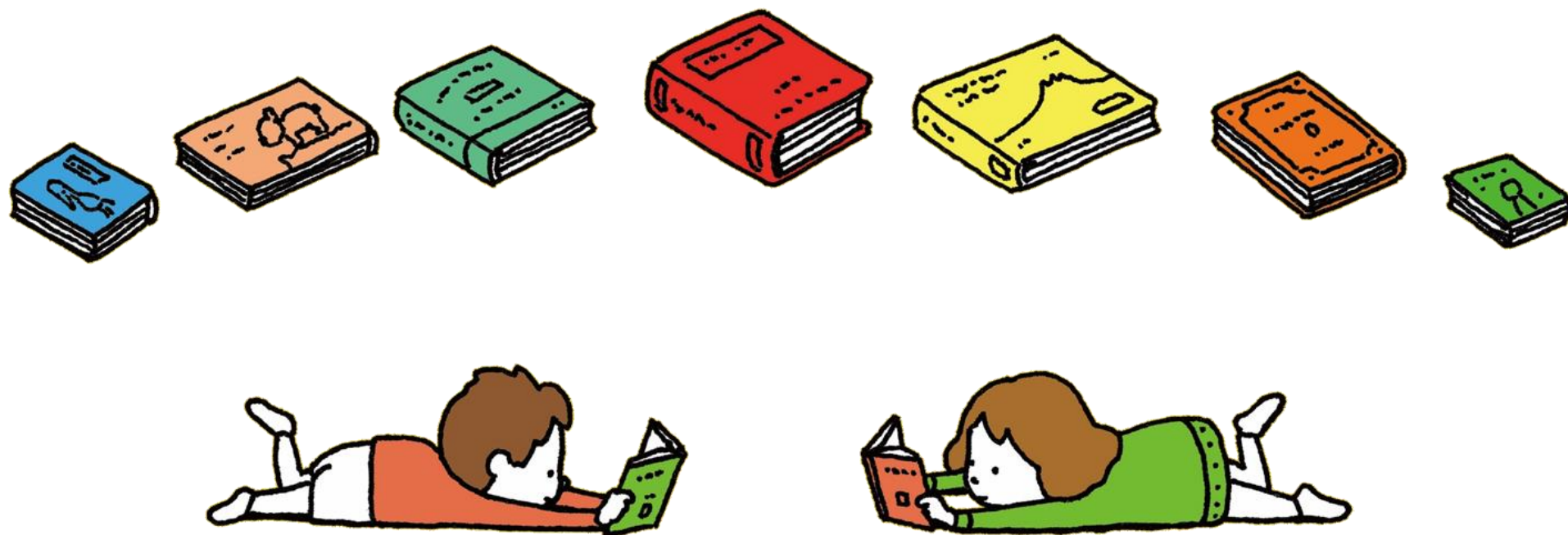
株式会社図書館流通センター 広報部 担当：全

 contact@mail.trc.co.jp

LiBOONラッピング ヨシタケシンスケ先生デザイン完成！



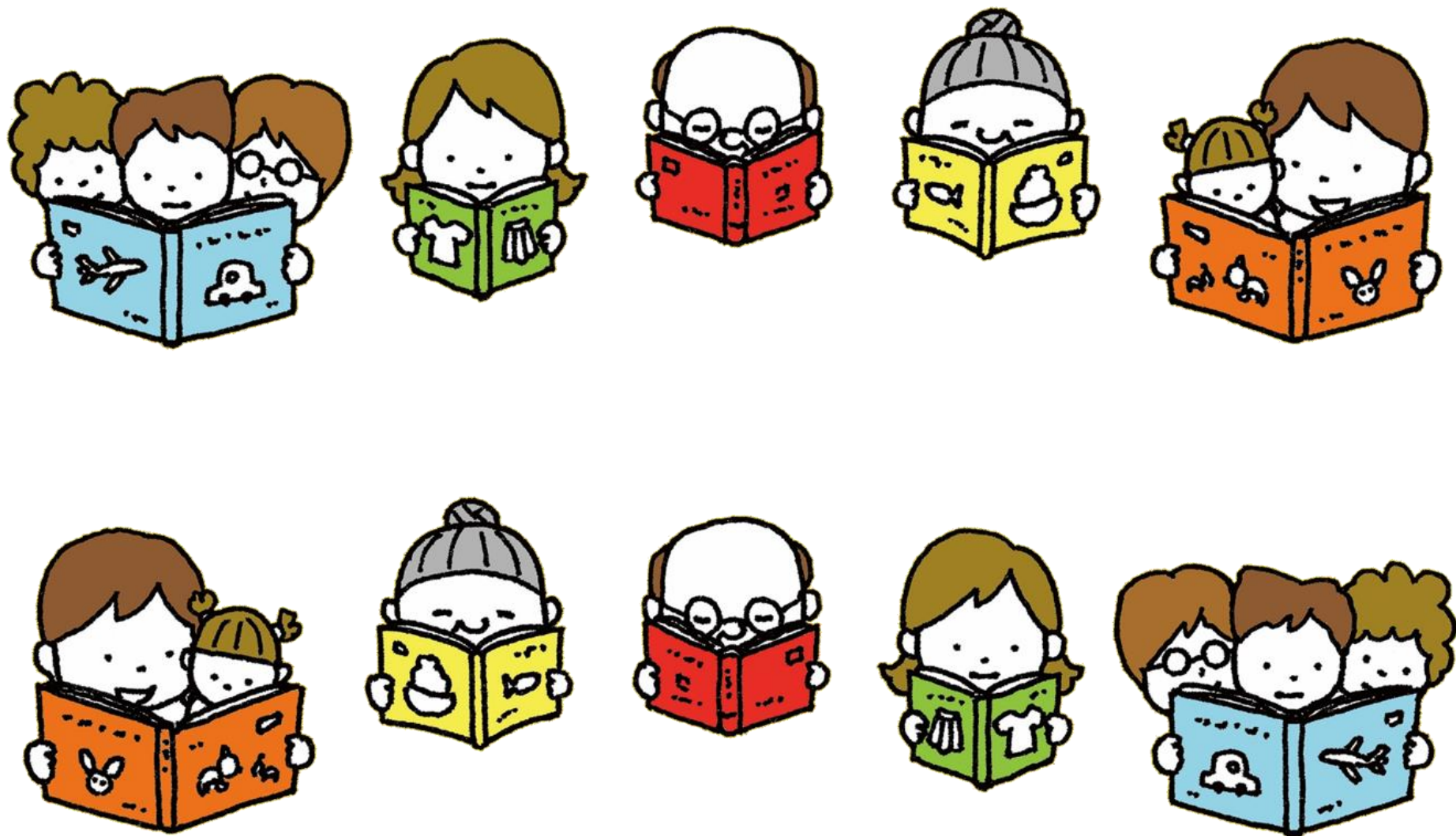
車体正面



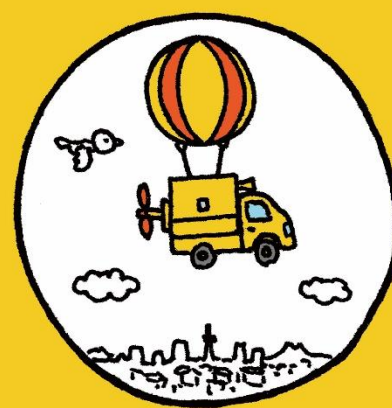
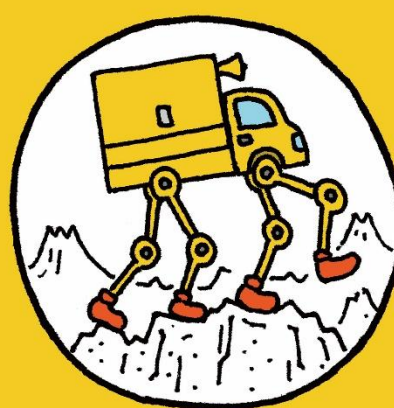
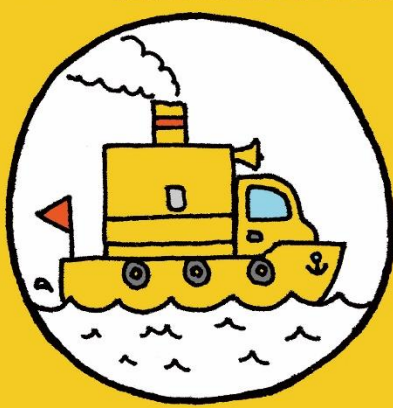
車体後方



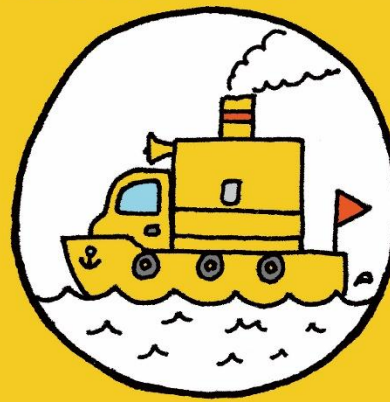
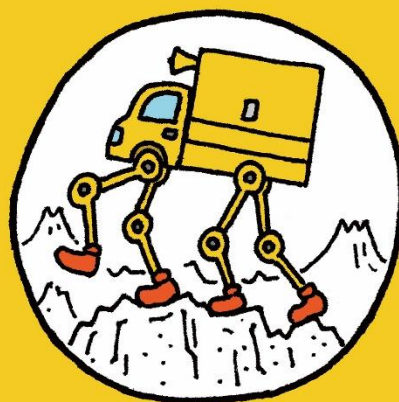
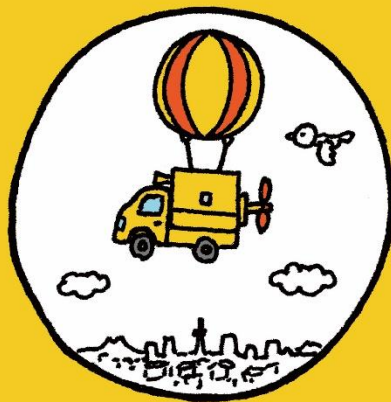
車体左右



車体左右



車体左右

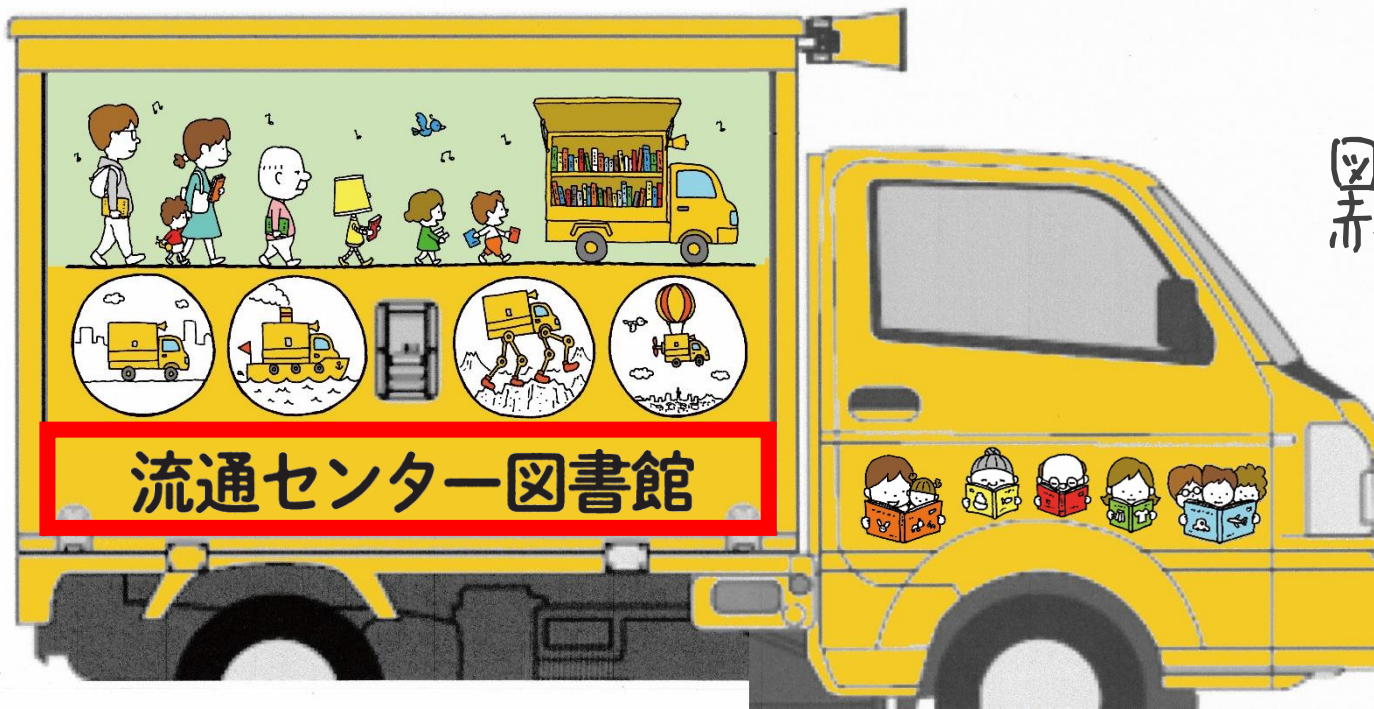
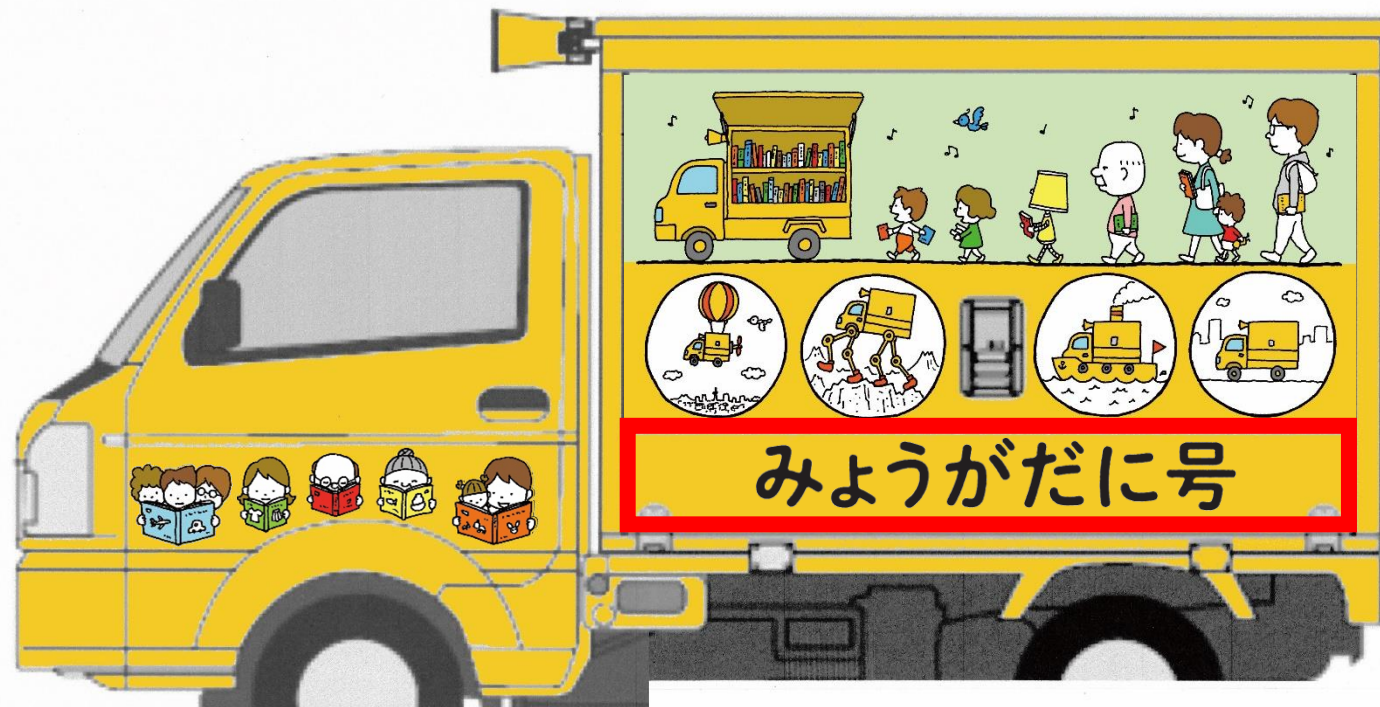


配置イメージ



図書館名/車名愛称は赤枠内に入られます

配置イメージ



図書館名/車名愛称は
赤枠内に入られます